

あ と が き

調査研究の範囲・実施方法でも述べたように、本書は学術的な調査ではなく幅広い分野に於ける超音波利用の実態を把握した上で、より市民生活に密着した超音波利用の今後の展開・発展方向を探ったものである。

都市における音の利用を超音波に焦点をあてて調査する内、意外に市民生活に直結した利用がなされていることが分った。アイデアを駆使して超音波をうまく利用すれば、市民生活はより一層快適なものになるであろう。本報告書がそれらのために何等かのお役に立てれば幸いである。

各方面の取材など調査研究に快くご協力頂きました関係各位、及び貴重なご助言を頂きました先生方に厚くお礼を申し上げます。又、内容について検討・考察が不十分な点多々あると思われませんが、至らぬ事柄のご教示・ご指導を今後ともよろしくお願い申し上げます。

- 編集・文責（財）サウンド技術振興財団 江澤定明 -